

私たちは事業を通じて、 健やかで豊かな社会の実現に貢献します

2016年4月1日、伊藤ハム株式会社と米久株式会社は、経営統合し、持株会社である「伊藤ハム米久ホールディングス株式会社」が発足しました。

両社がこれまで培ってきた技術やノウハウなどの強みを生かし、お客様に価値ある商品・サービスを提供することで、健全な生活の基盤となる「食べる」ことの喜びや楽しさ、大切さを皆様に伝えていきたいと考えています。

伊藤ハム米久グループでは、CSR活動の取り組みを通じ、お客様、従業員、株主、お取引先、地域社会など、皆様から信頼される企業であり続けたいと考えています。



編集方針

伊藤ハム・米久両社のこれまでの歩みや、CSR活動の取り組みをすべてのステークホルダーの皆様にご理解いただき、よりコミュニケーションを深めるために作成しています。

本報告書についてのお問い合わせ先

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 コンプライアンス統括部
〒153-8587 東京都目黒区三田1丁目6番21号 アルト伊藤ビル
TEL : 03 (5723) 8662
URL : <http://www.itoham-yonekyu-holdings.com>
E-mail : eco@itoham.co.jp
発行 2018年9月

対象範囲

報告対象期間

2017年度(2017年4月1日から2018年3月31日)の取り組みを報告していますが、一部では上記期間以外の取り組みについても報告しています。

報告対象組織

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社、伊藤ハム株式会社、米久株式会社、他国内グループ会社
※環境データの対象範囲は、別途記載しています。

参照ガイドライン

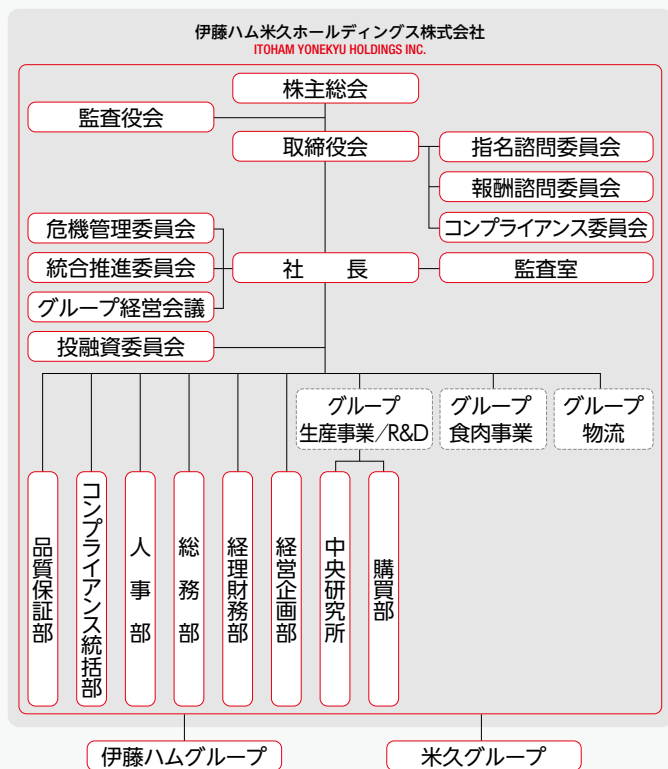
環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」

伊藤ハム米久グループの会社概要、組織図についてご紹介しています。

会社概要

商号	伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 (英文名: ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.)
本社所在地	東京都目黒区三田1丁目6番21号
設立	2016年4月1日
代表取締役社長	宮下 功
事業内容	食肉加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売、調理加工食品、惣菜類の製造及び販売などを行うグループ内傘下子会社の経営管理及びこれに付帯する一切の業務
資本金	300億円
従業員数	7,792人(連結従業員数2018年3月31日現在)

組織図



伊藤ハム米久グループのCSR活動内容については、各社Webサイトにて開示しています。



伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
<http://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/index.html>



伊藤ハム株式会社
<http://www.itoham.co.jp/corporate/env/index.html>



米久株式会社
<http://www.yonekyu.co.jp/company/csr/>

目次

- 1 編集方針 など
- 2 会社概要・目次
- 3 トップメッセージ
- 5 伊藤ハム米久グループのこれまでの歩みと2017年度の取り組み
- 7 事業・商品のご紹介

- 9 伊藤ハム米久グループのバリューチェーンと持続可能な取り組み
- 11 ガバナンス
- 13 社会
- 17 環境
- 21 グループ各社の取り組み・CSR用語集

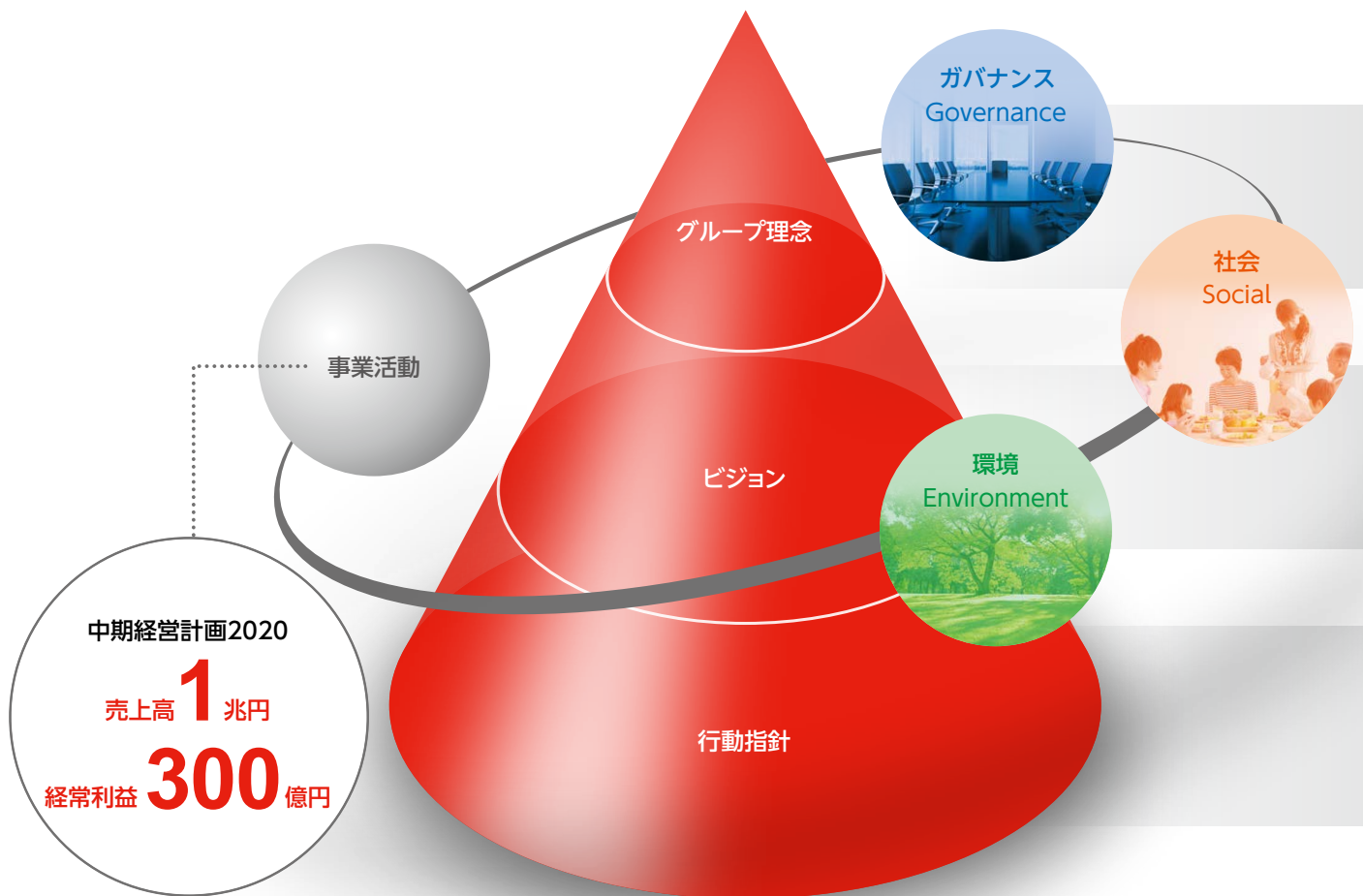
一步踏み出して更なる変革への挑戦を

2016年に経営統合した伊藤ハムと米久は、これまで培ってきた技術やノウハウを生かし、両社独自のブランド力を堅持しながら、安全・安心で高品質な商品、お客様にご満足いただけるサービスを提供し続けてまいります。そして事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献していきたいと考えております。

統合2期目を終えシナジー効果を創出し、当社グループ独自のアドバンテージを獲得できました。一方、国内外ともめまぐるしく変化する経済情勢の中、依然として厳しい環境下であることには変わりはありません。更なるグループの融

和と統合を推進しながらも、引き続き全従業員が迅速果断にひとつひとつの施策を遂行してまいり所存です。

企業として地球環境や社会に対する配慮を怠らずに、当社グループの事業に関わる社会課題を整理し、企業の社会的責任 (CSR) を果たしていきたいと考えております。また、ESG視点でも継続的な成長を目指し、「フェアスピリットと変革への挑戦を大切に、従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー」をビジョンに掲げた「中期経営計画2020」の目標達成に向け、更に一步踏み出した変革への挑戦を継続してまいります。



今後も、コンプライアンスを最優先としながら企業活動を展開し、当社グループの成長と収益性の源でもある「商品力」と「ブランド力」を磨いてまいります。そして企業価値の更なる向上を目指し、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
代表取締役社長

宮下 功



グループ理念

私たちは事業を通じて、
健やかで豊かな社会の実現に貢献します

ビジョン

フェアスピリットと変革への挑戦を大切に、
従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー

行動指針

- 安全安心と品質の追求による、価値ある商品とサービスの提供
- 有言実行の徹底による信頼関係の構築、強化
- 全員参加の闊達な意思疎通と相互理解による能力開発と育成
- コンプライアンスを最優先とした、公明正大で透明性のある行動
- 地球環境に配慮した事業活動の推進

伊藤ハム米久グループの これまでの歩みと2017年度の取り組み

● 伊藤ハム ● 米久 ● 伊藤ハム米久グループ

1928



創業者伊藤傳三の個人経営として、
大阪府で「伊藤食品加工業」を創業

1946



兵庫県神戸市灘区備後町に
おいて、「合名会社伊藤食品
工業」を復興

1934



「セロハンウイナー
(現ポールウイナー)」開発

セロハンウイナーとは

伊藤傳三創業社長がセロハンの「裁ち屑」を独特の糊で筒状のケーシングとして再利用。この中に豚肉を主原料としたソーセージを充填・加工し1本10匁(37.5g)のスティック型商品として開発したものです。

1958

ハム・ソーセージの原料肉として
マトンの使用技術を開発

独自の技術

当時「臭くて食べられない」と酷評された羊肉を生産国ニュージーランドからいち早く輸入。独自の技術と水洗による脱臭によって安くおいしい「プレスハム」を開発。誰でも手軽に食べられる「ハム」が普及することになりました。

1959

東京都目黒区に
目黒工場を新設。
東京に進出

1965
yonekyu



静岡県沼津市で食肉加工と
卸を目的として庄司清和が
「米久食品」を個人創業

東京オリンピックの1年後に創業。日本の近代食肉販売業の礎を築いた食肉卸の名門、東京都港区の株式会社米久に勤めながら修行に励み、約1年半後、のれんを分け与えられるかたちで独立しました。

1972



「スモークハム」
「ダルマスマークハム」発売

ロングセラー商品の誕生

三つ割にした豚もも肉の塊をいぶして仕上げた「スモークハム」を業務用商品として発売。さらに、コンシューマー市場にも拡大し、「だるま」を連想させる形状「ダルマスマークハム」の名で親しまれた商品がロングセラーになりました。

1974



「スキンレスウイナー
(現パルクィー)」発売

1979



「チーズイン」を発売

1981



業界初の生ハム専用
工場を新設

1985



「手造りウイナー・
バイエルン」発売

1977



初のコンシューマー
ソーセージ
「フランQ」発売

製造はじっくり、販売先へはより早く商品のフレッシュさをアピールした、米久初のコンシューマーソーセージを発売。この年、初めての消費者キャンペーンを展開しました。

業務用商品
「肉だんご1kg」発売

1988



「ポークビッツ」発売

世界一小さなウイナー開発

マーケティングリサーチを行った結果、調理の簡便性を求める消費者が多いことが判明しました。火が通りやすく、どんな料理の具にも使える、世界で一番小さいウイナー「ポークビッツ」を開発しました。

1996



業務用「スーパーBoo」発売

1990



「御殿場高原あらびきポーク」
発売

米久を代表する商品

味には定評のあったあらびきタイプのウイナーを、改めて米久を代表する商品に育てようと発売した「御殿場高原あらびきポーク」。高級感や何より富士山を連想させることからこのネーミングとなりました。

2008



「豚肉の味噌煮込み」発売

2014



「アルトバイエルン」をRe-ブランディングし「The GRAND アルトバイエルン」を発売

2013



「神戸」シリーズが「KOBESPECIALPRパートナー」に認定

2016

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社設立

2016

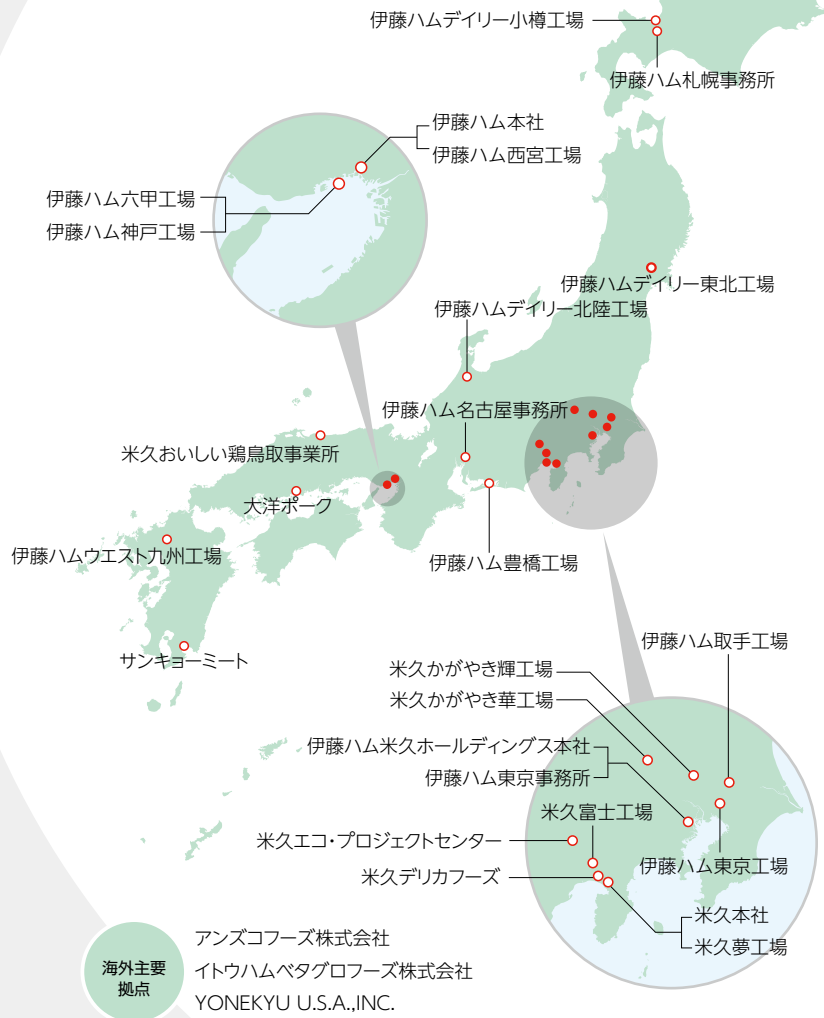


「大地のハーブ鶏」が地鶏・銘柄鶏食味コンテスト優秀賞受賞

2009

三菱商事株式会社・伊藤ハム株式会社・米久株式会社が包括業務提携契約を締結

○グループ主要拠点



2017年度の取り組み



10月9日を

「熟成ウイナー」

The GRANDアルトバイエルンの日に

認定(日本記念日協会)

伊藤ハム



「旨包ボリュームリッチハンバーグ」シリーズが、

日本食糧新聞社・第35回食品ヒット大賞

「優秀ヒット賞」を受賞

伊藤ハム



米久おいしい鶏(株)鳥取事業所が鳥取県琴浦町に

帽子取養鶏団地を竣工



米久



米久おいしい鶏(株)静岡事業所が

「しずおか農林水産物認証」を取得



米久



「スーパーブー BOO ホワイトあらびき」発売。

チルド原料を使用した、ごろっとした肉感のある、国内製造のあらびきノンスモークウイナー。

米久



事業・商品のご紹介

伊藤ハム、米久それぞれ独自のブランド力を堅持し、安全・安心で高品質な商品、そしてお客様にご満足いただけるサービスを提供し続けます。

Ham & Bacon of ITOHAM



朝のフレッシュ ロースハム



さわやかパック
うすぎりホワイトロース



朝のフレッシュ ロースハム
食塩25%カット&糖質0



醇 特撰ロースハム

ハム・ベーコン

サラダやサンドイッチなどいろいろな料理によく合います。また、便利な少量使い切りパックや食塩25%カット&糖質0など、お客様のニーズに応えた商品ラインアップ。

Ham & Bacon of YONEKYU



原形ベーコンブロック



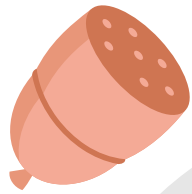
御殿場高原
ももハム切り落とし



御殿場高原
こんがりバラ焼豚切り落とし



ローズ生ハム
ツインパック



ラ・ピッツァ
マルゲリータ



旨包ボリュームリッチ
ハンバーグ



サラダチキン



レンジでごちそう!
ビーフシチュー 赤ワイン仕立て

調理品

手軽な簡単調理で、お弁当やおやつ、夕食などの一品に。素敵な食卓を演出します。



米久の肉だんご 黒酢たれ



もちっとつるん水餃子



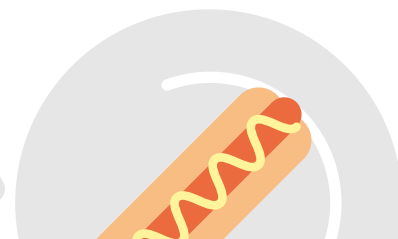
春巻巾着



大龍 自家製醬使用
エビチリ

Processed Foods of ITOHAM

Processed Foods of YONEKYU



Sausage of ITOHAM



The GRAND
アルトバイエルン



ポークピッツ



ロイヤルポール
ウイナー



ベルガヴルスト
ブラックペッパー

ソーセージ

お弁当や朝食はもちろんのこと、
おやつやおつまみなど、さまざま
なシーンで活躍します。

Sausage of YONEKYU



御殿場高原
あらびきポーク



スーパーブー BOO
ホワイトあらびき



The フランク



超あらびきソーセージ

食肉事業

安全・安心とおいしさにと
とんここだわり、高品質なお肉を
ご提供します。



南国麦豚



いとう和牛



ニュージーランド産チルドラム
(アンズコフーズ)



玄米育ち
岩手めんこい黒牛



瀬戸内六穀豚



大地のハーブ鶏

Fresh Meat of ITOHAM

Fresh Meat of YONEKYU

伊藤ハム米久グループの

バリューチェーンと持続可能な取り組み

伊藤ハム米久グループは、ハム・ソーセージ・食肉事業をはじめとするさまざまな商品をお客様にお届けしています。私たちはこれらの商品を生み出す各バリューチェーンにおいて、社会からどのような期待を寄せられているのかを踏まえつつ、持続可能な社会の実現に貢献するさまざまな取り組みを実施しています。

社会からの期待

- お客様課題の解決
- 安全・安心な商品設計
- 環境に配慮した商品設計
- 公正な取引
- 安全・安心な品質の確保
- トレーサビリティの実施管理

バリューチェーン

考える

調達する

伊藤ハム米久グループの 取り組み

個別の取り組み

- 市場調査・トレンド分析
- ユニバーサルデザイン
- 社内外のニーズを踏まえた商品企画・開発
- 廃棄物の削減とリサイクルの推進

- 原材料等の安定的な調達
- 定期的な監査・点検の実施
- 国産牛トレーサビリティの情報公開
- サプライチェーン上の法令遵守、人権尊重や環境保全への配慮

全体の取り組み

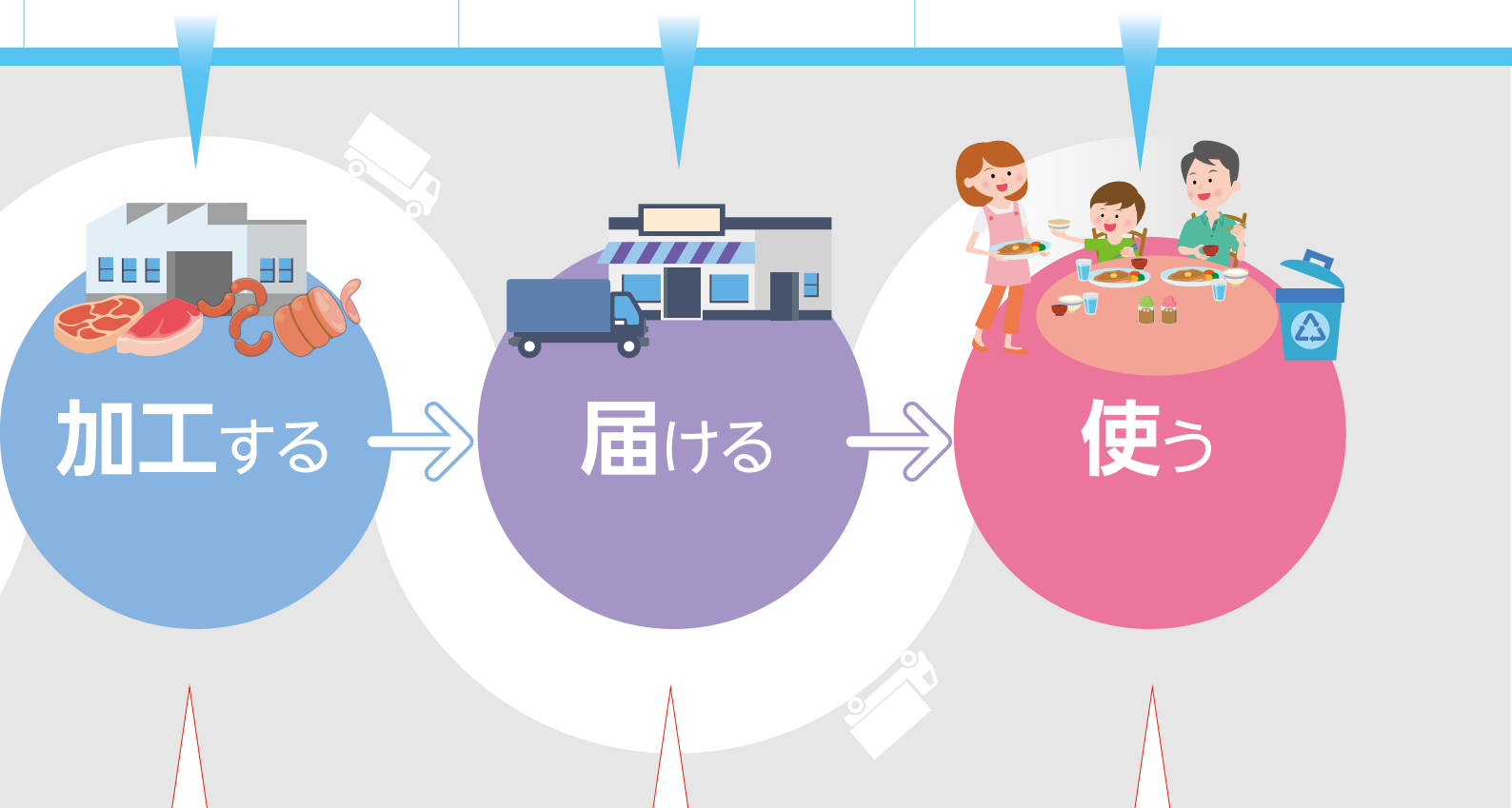
🏢 コンプライアンスの遵守 🏢 コーポレート・ガバナンス体制 🗨️ 地域社会



- 安全・安心な品質の確保
- 環境負荷の低減
- 周辺地域への配慮

- 継続的で安定的な商品供給
- 輸送時の安全確保
- 環境負荷の低減

- 見やすくわかりやすい表示内容
- 使いやすさと廃棄物削減
- お客様の要望・課題の改善反映



- 定期的な監査・点検の実施
- HACCP／ISO22000・14001・9001／エコアクション21の外部認証取得
- 騒音対策

- 効率的な物流体制の構築
- 適正運転の実施
- 低公害車への転換

- 適正な商品情報の表示
- ユーザビリティの取り組み
- お客様のご意見収集とコミュニケーション

コンプライアンス

Close Up

コンプライアンス講習・推進委員制度

伊藤ハム米久グループでは、全グループ従業員を対象に、コンプライアンス講習を行っています。更に役員、役職者、新入社員などを対象とした階層別のコンプライアンス講習も実施しています。

コンプライアンス講習

また、「各職場の業務に根付いたコンプライアンスの推進と定着」を目的として、コンプライアンス推進委員制度を導入しています。2017年度は、コンプライアンス推進委員（全国で約330名）の意識の向上と知識の習得を目的に、全国15カ所で、年3回の定期ミーティングを開催し、ハラスメント防止や、適正な労働時間管理の講習を行いました。



Voice コンプライアンス推進委員から

コンプライアンスの知識・意識が向上し、自分自身の成長につながったと感じます。また、自部署はもちろん普段あまり関わりの無かった方々とも、推進委員活動を通してコミュニケーションをとる機会が増えたり、身近なコンプライアンス問題について一緒に考えたりすることができました。2年間のコンプライアンス推進委員の経験を生かして、今後も職場に関心を持ち続けたいと思います。

井澤 美香 (営業)

Close Up

内部通報制度 (社内・社外相談窓口)

従業員が違法行為、社内ルール違反や社会的良識からの逸脱に気づいた場合の対応として、まず、上司に報告することを基本としています。しかし、それが難しく、従業員がコンプライアンスに関することで困ったり悩んだりしたときの相談先として、「社内相談窓口」を当社グループ内に設置し、「社外相談窓口」を社外弁護士に委託しています。

また近年、職場での人間関係、コミュニケーションに関する相談が増えたことを受け、相談員の傾聴力研修を実施するとともに、従業員教育にコミュニケーションスキルの向上を目的とした講習を取り入れています。

社内相談窓口

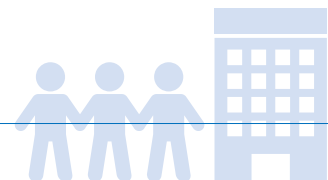
リスクマネジメント

Close Up

リスクマネジメント体制の取り組み

リスクマネジメントの取り組みとして、危機管理委員会を設置し食品事故の際の危機管理規程を定め、迅速に対応できる組織体制を整えています。また、業務や取引に関連する法令を抽出し、その遵守状況について年1回モニタリング活動を行う「リーガルリスクマネジメントシステム」を構築・運用し、リスクの把握及び低減化と教育を行っています。

自然災害発生時における事業継続計画 (BCP) については、「南海トラフ巨大地震」などを想定した計画を策定し、その訓練を実施し、計画内容については適宜見直しを図っております。





豊かな社会の実現に向けて

お客様に「安全」で「安心」な商品をお届けすることで、健全な生活の基盤となる「食べる」ことへの喜びや楽しさをお伝えすべく、万全の品質保証体制をしいています。また、良き企業市民として、地球環境への配慮と、社会との共生を大切に持続的な社会貢献活動も推進しています。また、会社の大切な財産である従業員へは、教育制度の充実はもちろんのこと、安全衛生、ワーク・ライフ・バランスへ配慮した取り組みを行い、安心して働ける職場環境の実現を目指します。

安全・安心への取り組み

伊藤ハム米久グループでは、最も信頼される食肉加工メーカーになることを目指し、お客様に安心してお召し上がりいただける商品をお届けしています。

Close Up

お客様の安全・安心を最優先に取り組んでいます

1 万全の品質保証体制

お客様に安全・安心な商品やサービスを提供するために、原材料から製造、加工、流通、販売までのフードチェーンの各ポイントや社外調達先において、法令はもちろんのこと、伊藤ハム米久グループ独自の基準に適合しているかどうかの点検、監査を実施しています。

2 外部機関による評価

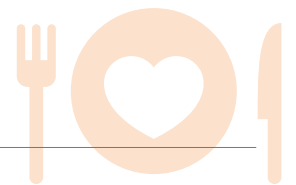
伊藤ハム米久グループの生産施設ではHACCPやISO22000・14001・9001、エコアクション21の外部認証を取得しています。社内監査のほか、外部認証機関によるマネジメントシステム検証などを通じて、更なる改善に取り組んでいます。

3 トレーサビリティの徹底

国産牛肉

伊藤ハム米久グループでは、牛トレーサビリティ法を遵守する管理を行っています。

牛トレーサビリティ法では、牛1頭につき1つの個体識別番号が付けられますが、当社グループではこの個体識別番号を仕入・販売するすべての国産牛にひもつけ履歴がわかる管理をしています。



お客様満足を目指して

お客様に喜んでいただける商品・サービスの提供を目指し、お客様とのコミュニケーションを大切にしています。

Close Up

お客様の声を大切にしています

傾聴

商品の特徴、食べ方、調理法、商品の保存に関すること、商品の栄養成分やアレルギー物質に関することなど、日々さまざまな質問がお客様相談室に寄せられます。お寄せいただいたご質問・ご意見を大切な資産として受け止め、真摯に耳を傾けるとともにわかりやすい情報提供を心がけています。

共有

お客様相談室と生産工場のお客様サービス担当者が一堂に集い、お客様からどのような声をいただいているか、お客様対応のプロフェッショナルとしてどのように対応すべきかなど、情報を共有するとともに、「誠実かつ迅速な対応」の重要性を再認識し、お客様にいつも「安心」を感じていただける商品づくり・サービスの向上に努めています。

Close Up

肉のプロ「伊藤ハムフードソリューション」における提案型プロフェッショナルの育成

「お肉検定2級」の有資格者を前提として、食肉研修、座学などのカリキュラムを受けた従業員を「ミートコンシェルジュ」として任命しています。

ミートコンシェルジュは精肉の専門家として、正しい知識や最新の情報をお客様に提供するとともに、お好みの調理法やそれにあった最適な商品の提案をしています。また、お客様のより良いお買い物のお手伝いができるよう、お客様のライフスタイルに寄り添った提案を心がけています。

現在、延べ17名のミートコンシェルジュが、全国の店舗で「食べる喜び」を積極的に提案しています。

研修風景



Voice ミートコンシェルジュから

お客様がどんな献立をお考えなのか、脂身、赤身、どちらがお好きなのかなど「お客様との対話」を大切にすることで、ご希望の商品が見えてきます。

単に商品を販売するだけでなく、お客様との信頼関係を築き、「来店するのが楽しい」と感じていただくことが、ミートコンシェルジュの使命だと考えています。

鎌田 恵美子

ミートコンシェルジュから Voice

近年は、ヘルシーブームを背景に赤身のお肉をお買い求めになるお客様が増えているように、食はもはや“食事”から“ライフスタイル”を表す大切な要素になりつつあります。そうした時代の変化に伴い、美や健康などのテーマも盛り込みながら、ミートコンシェルジュとしての提案力をさらに高めていきたいと考えています。

川崎 和人



働きやすい職場環境の醸成

従業員一人ひとりが、生き生きと、能力を十分に発揮できる職場環境づくりに努めています。

Close Up

新入社員を職場で計画的・重点的・継続的に育成する制度

新入社員・若手社員の能力を迅速に向上させ、早期かつ着実に即戦力となるよう育成するために、伊藤ハムグループではメンター制度を、米久グループではブラザー・シスター制度を導入しています。



Voice ブラザー・シスター制度利用者から

ブラザーの方には、時には厳しく、困った時は親身になって相談にのっていただきました。また、仕事への取り組み方、考え方などさまざまなことを教えていただいたおかげで、自身の成長につながったと思います。今後はこのような経験を生かし、後輩の育成に努めていきます。
神尾 直哉 (開発)



Close Up

女性リーダー層の育成に向けた取り組み

女性従業員の積極採用、女性従業員を対象とした研修、仕事と育児・介護などの両立支援、就業継続支援制度（ジョブリターン制度など）を実施しています。



女性管理職を囲む座談会を開催しました

伊藤ハムと米久のキャリアアップを目指す女性従業員4名と、女性管理職2名が、「管理職を目指したきっかけ」や「実際に管理職になって心がけていること」などを意見交換する合同座談会を開催しました。

女性活躍に関する悩みや不安、管理職のあり方への気づきややりがいなどを、実際に管理職として業務に従事している方に聞き、また、さまざまな職場環境にいる方との意見交換を通して、多様な働き方や職場環境を整えるためのきっかけづくりに役立てることを目指しています。



女性管理職を囲む座談会風景

地域と共に成長し続ける企業になる

地域社会の一員として、また、良き企業市民として、地球環境への配慮と、社会との共生を大切にしながら持続的な社会貢献活動を推進しています。

Close Up

富士山保全活動を実施しています

米久株式会社は、富士山の麓である静岡県沼津市に本社を置く企業として、2009年より、富士山の世界文化遺産登録を支援する目的で「富士山基金」への寄付を実施してきました。

2013年6月22日に世界文化遺産に登録された後も、寄付活動を通じて、引き続き富士山の保全活動支援に協力しています。

※富士山基金とは
世界遺産「富士山」を美しい状態で未来に引き継ぐため、「認定NPO法人 富士山世界遺産国民会議」などが運営しています。この基金は、富士山の環境保全・保護活動、訪問者への案内・啓発活動などに使用されています。



Close Up

神戸市との包括連携協定

伊藤ハム株式会社は2013年10月から神戸市と包括連携協定を締結しています。神戸市灘区が本店所在地であることから、「神戸の皆様に貢献したい」との思いから始まりました。現在も「防災」「地域活性化支援」など幅広い分野で連携事業に取り組んでいます。

包括連携協定の詳細



六甲山自然環境保全活動

2002年に緑化100周年を迎えた六甲山系で、これからの100年の森林保全と育成を目指して神戸市が進める「六甲山これからの百年の森づくり」。この森づくりを市民の手で行う「こうべ森の学校」に対し、「神戸」シリーズの売上の一部を寄付したり、社員ボランティアを派遣するなどして支援しています。

KOBE PR パートナー・情報発信

お中元・お歳暮などの贈り物として高い評価をいただいている「神戸」シリーズが、「KOBEスペシャルPRパートナー」に認定されました。お中元・お歳暮ギフトに、六甲山の自然環境保全活動の取り組みや六甲山・摩耶山の魅力を掲載した「しおり」を封入し、全国に発信しております。



防 災

災害発生時における食糧提供について、神戸市の要請に基づき、100,000パック（1日10,000パック×10日）のレトルト商品などを速やかに供給できる体制を整備しています。



豊かな地球環境を未来へ

伊藤ハム米久グループは地球環境に配慮した事業活動を行い、人々のより豊かなくらしづくりに貢献します。

伊藤ハム米久グループ環境理念・行動指針

環境理念

私たちは地球環境の保全が全世界共通の最重要課題のひとつであることを認識し、事業活動を通じて地球環境に配慮し、持続可能な社会を実現するために積極的に行動してまいります。

環境行動指針

伊藤ハム米久グループは、伊藤ハム米久グループ理念及び伊藤ハム米久グループ環境理念を実現するために、以下の環境行動指針に従って事業活動を展開します。

1. 法令遵守

国内外の環境関連法・規制・条例・協定を遵守し、自主管理基準を定め環境保全活動に努めます。

2. 環境負荷の低減

省エネルギー、省資源、及び廃棄物・温暖化物質・オゾン層破壊物質の排出削減を図るとともに、廃棄物の資源リサイクルを推進し、循環型社会形成の対応と地球環境負荷低減に努めます。

3. 生物多様性の保全

森林や河川などの自然環境保護活動を推進し、生物多様性の保全に努めます。

4. 環境保全活動の継続的改善

環境に及ぼす影響を考慮し、環境目標を定め、定期的な見直しによる環境保全の継続的改善を図ります。

5. 自主管理の徹底

外部・内部監査を定期的を実施し、自主管理の徹底を図ります。

6. 環境教育及び意識醸成

社内外の環境教育及び社内広報活動を通じて、従業員に伊藤ハム米久グループ環境方針の理解と環境保全意識の向上を図ります。

7. 社会との共生

社会との対話、環境保全活動への参画により、社会との共生を図ります。

8. 環境情報の開示

伊藤ハム米久グループの環境に関する情報を適切に開示します。

環境マネジメント

環境保全活動の効果を高め、持続可能な社会の構築に貢献していくために、主要な生産拠点において、環境マネジメントシステムを構築・運用し、環境保全活動を推進しています。

Close Up

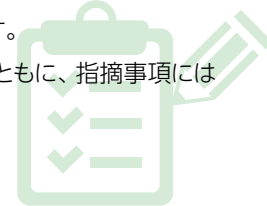


監査室による環境監査

活動のさらなるレベルアップを図るために環境監査を実施するとともに法令遵守を行っています

環境汚染や環境事故を防止し、環境保全活動の更なるレベルアップを図るために、事業所ごとに環境監査を実施しています。また、監査室が、年度の計画に基づく主要事業所に対する内部監査において、環境に関する監査も実施しています。

環境関連法や、環境保全協定などで定められた規制値を守るとともに、指摘事項には迅速に対処し是正を図ることで、法令の遵守を徹底しています。



Close Up

環境マネジメントシステムの緊急時の処置手順に沿って、定期的に訓練を実施しています

緊急時の対応策として、汚水や重油、薬品の漏洩など、環境汚染を引き起こすような突発的な事故を想定し、その影響の拡散を防ぎ、汚染を最小限にするとともに、早期に修復するために、定期的に訓練を実施しています。

万一事故が発生したときには、社内間の連絡と必要に応じて行政機関や地域住民への連絡を円滑に行うように規程を定め運用しています。



配電盤内確認・切替

工業用水処理設備
異常の訓練



現状確認



注入ポンプ確認

Close Up

環境管理に関するお問い合わせに迅速かつ誠実な対応を心がけるとともに、環境事故には迅速に対応しています

環境管理に関するお問い合わせに対して、その都度、迅速かつ誠実な対応を心がけています。

対応策実施後はその効果を確認し、お問い合わせをいただいた方に報告し、ご了解をいただいています。

○お問い合わせ内容と対応策の事例

	内容	対応策
騒音	深夜の騒音が気になる。	従業員、協力会社へ可能な限り静かに作業を行う、トラックのアイドリングストップなど周知しました。
騒音	工場の用水路から水が流れているため、音が気になる。	排水ポンプ不良などが原因だったため、早急に修理しました。

環境への取り組み

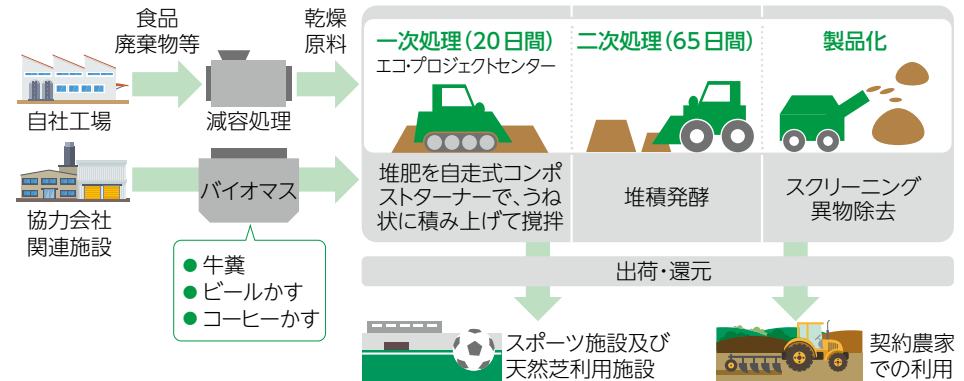
環境課題の解決に向けて、食品廃棄物のリサイクルやCO₂排出量の削減などに取り組んでいます。

Close Up

食品廃棄物のリサイクル

米久エコ・プロジェクトセンターでは、自社工場や関連企業から排出される食品廃棄物をリサイクルし、良質な肥料を年間約500t生産しています。作られた肥料はさまざまな用途で使用され、環境負荷低減に貢献しています。

○米久エコ・プロジェクトセンター乾燥工程



Close Up

太陽光発電設備を導入

伊藤ハム米久グループでは、環境活動の取り組みの一環として、太陽光発電設備を設置しています。

伊藤ハム西宮工場では、地域の方々が環境問題を考えるきっかけとなることを願い、JR神戸線沿いの見通しの良い工場屋上南側に太陽光パネルを設置し、米久本社物流センターでは、発電した電力全量を電気事業者に売電しています。

これからも施設の有効活用を図るとともに、自然環境に配慮した再生可能エネルギーの普及に努めていきます。



太陽光パネル
(伊藤ハム西宮工場)

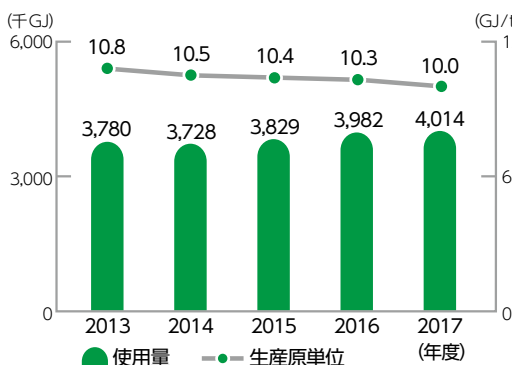
太陽光パネル
(米久本社物流センター)

Close Up

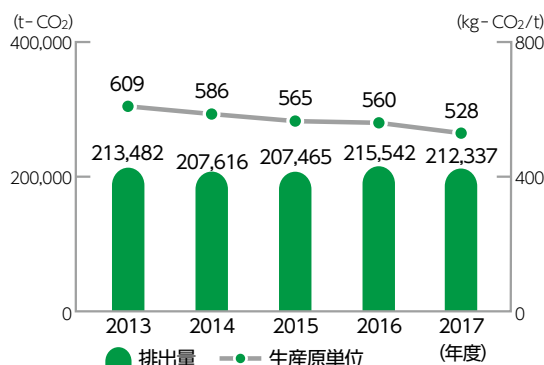
総エネルギー使用量・二酸化炭素排出量の推移

効率の良い冷凍機や変圧器、LED照明への更新などにより、省エネルギー及び二酸化炭素排出量削減を推進しています。

○総エネルギー使用量の推移[※]



○二酸化炭素排出量の推移[※]



※対象範囲

(各工場)

伊藤ハム、伊藤ハムデリー、伊藤ハムウエスト、浅草ハム、筑紫ファクトリー、ロイヤルデリカ、菊水、サンキョーミート、IHミートパッカー、IHミートソリューション、米久、米久かがやき、米久デリカフーズ、米久おいしい鶏

(各事務所)

伊藤ハム、伊藤ハムデリー、伊藤ハムウエスト、伊藤ハム販売、伊藤ハムフードソリューション、伊藤ハムミート販売東、伊藤ハムミート販売西、アイエイチロジスティクスサービス

環境保全活動

環境保全活動や、地域貢献の一環として、ボランティア活動などを行っています。

Close Up

森林保護活動

「しずおか未来の森サポーター」協定に基づく森林整備活動を、富士山こどもの国で実施し、ヒノキ林の下草刈りや間伐などを行っています。



森林保護活動の様子

Close Up

「こうべ森の学校」の森林ボランティア活動

市民・行政・企業が協働し、植樹や間伐といった森林の手入れはもちろんのこと、間伐材などの森の恵みを利用したログハウス、木工品の制作など、多様な活動を展開しています。



「こうべ森の学校」参加者から Voice

「こうべ森の学校」に参加して森の間伐や植栽、木工作りなどで毎回楽しく過ごしています。とくに雑然とした森が、手入れすることによりだんだんと日光が差し込む明るい森に変わっていくのを見て、とてもうれしくなります。初めてでもスタッフの方からいろいろ教わることですぐに上達します。ご興味のある方の参加をお待ちしています。

福田 浩之 (システム)



Close Up

千本浜海岸清掃

米久では、本社所在地である沼津市の環境や景観を守ることを目的として、参加者は海岸に落ちているカンやビン、ペットボトル、漂着物などのごみを拾い、千本浜海岸における清掃活動を行っています。



Voice 千本浜海岸清掃活動参加者から

ごみの中にはガラスやプラスチックの破片もあり、危険だと感じました。この清掃活動に参加することで、環境保全や景観保持だけでなく、海岸を利用する方の安全を守ることもできると学びました。

山本 尚輝 (人事)



グループ各社の取り組み

私たち伊藤ハム米久グループは積極的な取り組みをグループ各社で行っています。

確かな品質をお客様へ

毎日、工場の全アイテムをチェックしています

万全の品質管理体制のもと、製造される全アイテムを原料から製造工程、保存にいたるまで入念にチェックしています。



品質検査

きめ細やかな配慮を心がけています

パッケージに大きく保存方法を表示するなど店頭に並んだその先の安全を呼びかけています。



保存表示一例

人材の活躍の場を拡大

人材の活用を促進する取り組み

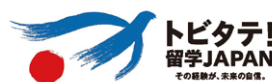
中長期的な視点に立ち、従業員自身が目標やキャリアビジョンを立てて上司と面談するキャリア面談や、同一部署での長期滞留による弊害を排除すべくジョブローテーションを実施しています。また、やる気のある人材の活用を促進するために、「社内フリーエージェント」「社内公募」などのジョブチャレンジ制度を導入・強化し、人材の活躍の場を広げています。

通信教育講座を開講し、自己啓発の機会をつくっています

受講料を補助するなど、従業員が専門的な知識を習得する機会を設けています。

グローバル人材育成への賛同

文部科学省がすすめる、大志あるすべての日本の若者が海外留学の一步を踏み出すための取り組みを行う「グローバル人材育成コミュニティ」の主旨に賛同しています。その取り組みを支援した功績により紺綬褒状を拝受しました。



CSR用語集

循環型社会

廃棄物の発生を抑制するとともに、有益な廃棄物は資源として適正に利用し、どうしても利用できない廃棄物は適正に処分することで、資源の消費の抑制と環境負荷の低減を図る社会。

ISO14001

環境マネジメントシステムの国際的な標準規格。環境マネジメントシステムの管理手法について定めており、基準を満たしていると認められた組織は認証を取得できる。

環境マネジメントシステム

事業が環境に及ぼす影響を最小限にするため、企業や組織などが自主的に環境方針や目標を定め、その達成に向けて取り組むことを「環境マネジメント」といい、これを具体的に実行するための体制や計画、手続き、仕組みのこと。EMSともいう。

ダイバーシティ

人種、性別、年齢、信仰などにこだわらず、多様な人材を生かし、最大限の能力を発揮させようという考え方。

ワーク・ライフ・バランス

性別や年齢などに関係なく、ワーク(仕事)とライフ(仕事以外の生活)の調和を目指す考え方。

グループ各社の詳しい取り組みはこちら

▶伊藤ハム株式会社

<http://www.itoham.co.jp/corporate/env/index.html>

▶米久株式会社

<http://www.yonekyu.co.jp/company/csr/>

途上国支援の取り組み

ユニセフの活動を支援しています

アジアの子どもたちに教育の機会を提供するユニセフの活動を、対象商品の売り上げの一部を寄付することによって支援する「子ども未来プロジェクト」を実施しています。

寄付金は、学校・教室の建設、性別や障がい者に配慮したトイレや手洗い場などハード面での支援と、職員への研修、新規教員の育成、就学前の幼児ケア・教育などソフト面での支援に役立てられています。



© UNICEF_LAOA2006-5008_Holmes

ペットボトルキャップ回収活動によってワクチン提供を実施しています

ペットボトルキャップは、ゴミとして焼却すると、1kgあたり3,150gの二酸化炭素が発生します。

現在までに、延べ2.4tのペットボトルキャップを回収し、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付することによって、1,220名の子どもたちにポリオワクチンを提供しています。

サステナビリティ

「持続可能性」の意。企業分野では、経済発展はもとより、社会的責任を果たすことで、将来においても事業を継続できる可能性を持ち続ける、という意味で用いられる。



コーポレート・ガバナンス

企業経営において、経営上の意思決定が企業の価値創造にとって有効な判断となるように管理・統制する仕組みのこと。情報開示の在り方や、取締役会など会社の機関の在り方などを指すことが多い。

CSR

企業の社会的責任。利益追求、法令遵守だけでなく、あらゆるステークホルダー(利害関係者)や社会のニーズに配慮した企業経営を意味する。

コンプライアンス

法令遵守の意。法令に違反せず、社会規範や倫理を重視するシステムを整備し、ステークホルダー(利害関係者)の立場に立って経営を行うこと。

地域に根差した取り組み

親子手づくりウイナー教室を実施しています

食の大切さを伝える活動のひとつとして、近隣住民の親子の皆さんを対象に、手づくりウイナー教室を実施しています。思い思いの大きさのウイナーを作り、それらを試食していただく中で、毎回会場のあちこちで笑顔と歓声が沸き、親子で充実した時間をすごしていただいています。



講師がつくり方を説明

近隣の小中学生を対象に、職業講話を実施しています

当社グループの商品や事業の内容、仕事をする上で大切なことなどについて模擬体験を交えながら講話をしています。毎回児童・生徒の皆さんは、担当社員の話に真剣に耳を傾けてくださっています。



沼津市立第三小学校にて

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

東京都目黒区三田1丁目6番21号

URL : <http://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

